

岡山の魅力を音楽で描き発信する

山地真美

活動の目的

舞台に乗る経験、ひとつの舞台をつくりあげる経験を、世代を超えて体感して欲しいと考えた。舞台テーマは皆の共通点である「おかやま」。本活動は岡山の地域の魅力再発見を促すことと、岡山にしかない独自の音楽文化を根付かせていくことを目的としています。

活動の内容及び経過

旧内山下小学校の体育館にて、11/13～18まで連日一般参加者で練習し、11/19にコンサートを開催。ステージに上がった参加者は68名、当日の一般鑑賞者は80名。

チラシとSNSを中心に一般公募の参加者を募集。楽器、合唱、簡単な打楽器のパートに分けて募集した。参加者は、学生時代に部活で楽器をやっていて数年ぶりの方や、普段は個人レッスンのみでアンサンブルの機会がない方、小学生から中学生くらいまでのお子さんとそのご家族などが多かった。最高齢は74歳の方で、合唱で参加。練習中に楽しいからと他の友達を呼んでくるなど生き生きと取り組んでいた。また、例えばトランペットでは小学校5年生の男の子と、楽器を初めてまもない社会人男性が、互いに会話しながら教え合うなど、普段見られない世代を超えた交流が見られた。

参加者には幅広い種類の楽器が加わり、電子クラリネットや和太鼓、尺八やタップダンス、ギターやライアーなどが加わった。このような楽器やパートを全て舞台の場面中に加えていき、オリジナリティあふれる舞台になった。用意されたありものの台本や楽譜に参加者を当てはめていくのではなく、参加者それぞれの持つ楽器や個性、能力、全てを台本や音楽に反映させて新しいものを創り上げていく、その過程こそが他にない音楽文化の形成であり、参加者も世界に一つの公演を心から楽しみ、本番を一生の思い出にしたいと意気込んでいました。来年以降も毎年開催してほしいとの要望がたくさんあがってきており、継続し発展させ規模を拡大させていきたいと考えています。

活動の成果・効果

参加者の満足度が非常に高く、当日行った参加者アンケートでは68名全員が【また参加したい】の項目にチェックをつけていた。練習が楽しく、参加を楽しんでいる様子は、連日の指導過程でも感じ取ることができた。参加者からは、オーケストラでの演奏は自信がなかったけれど経験できて嬉しいといった声や、久しぶりに楽器を演奏できてこれを機会にまた頑張りたいと思ったという声や、みんなで創っていく過程が楽しかったという声があった。テーマとした



歴史人山田方谷については、当初名前も知らない人が多いような状況だったが、参加者の中には練習期間中に新見の山田方谷記念館に実際に行ってきたという人が2名もいた。もちろん公演後には、全ての人が音楽舞台を通して山田方谷の偉業を知っている状態となった。文書などでは難しい歴史人の話も、このような参加型の舞台を通して興味を持つようになり、発信する人になっていく、そんな過程を見ることができた。音楽を通して地元岡山の魅力を再発見してほしい、という本活動の目的もまずは一つ達成でき、今後活動を継続していくことで岡山の魅力認知も広がっていくと確信できた。

今後の課題と問題点

当日スタッフが予想以上に必要だということが分かった。事前予約方法をチラシに掲載していたが、実際には予約なしに当日来た人が150名だったため、事前に混雑を把握できなかった。受け付けしながら会場に椅子を出すような状況になった。また、体育館ということもあり連日の練習期間中から防寒対策をよりしっかり考え対策する必要があると感じた。寒くて楽器の音が出にくいという声があった。

- 代表者：山地真美 ●所在地：岡山市中区海吉
- TEL：090-6842-3775 ●E-MAIL：info@yamajimami.com
- URL：www.yamajimami.com
- 設立年：2014年 ●メンバー数：1名